



かけはし

1 月はいく、2 月にはげる、3 月はさると言う言葉通り、もう 3 月も終わりに近づいてきました。朝夕はまだ寒いと感じますが、日中は春のような暖かさもあり、家の近所を散歩していると鶯の声が聞こえたりと、春もすぐそこまで来ているのかなと感じます。暖かくなれば中庭にでたり、お花見の計画なども立てていますので、楽しみにしておいて下さい。(前原)

🌸 🌱 大学から学生さんが実習にこられました 🌱 🌸



学生さんが考えてきたレクリエーションを真剣にされています。職員も必死です！



若くてフレッシュなお二人がいてくれるだけで雰囲気明るくなり、利用者様の普段見られない表情がたくさん見えました。実習最終日には利用者様が実習生に「また遊びに来てね」「これからも頑張っておね！」などやさしく話かけておられました。

お知らせ

3 月 31 日(月)にお花見ドライブを計画しています。
お弁当代 1000 円程度の自己負担となりますのでご了承下さい。



～いつも小規模高梁を支えてくださっている方々に質問してみました～

第1回目は、かとう社会福祉士事務所の加藤貴之さんです

✿ 自己紹介 ✿

かとう社会福祉士事務所の加藤貴之と申します。高梁市を退職後、独立型社会福祉士を開業し、その後、法律後見、権利擁護団体を設立しました。令和7年4月で開業から8年目を迎えます。現在は、成年後見人の受任や社会福祉士養成校の講師のほか、行政・教育機関、医療、福祉施設でのセミナー開催などの事業を展開しています。その他、岡山県社会福祉士会・地区会その他、たかはし権利擁護ネットワーク懇談会の運営に携わるなど、社会福祉士の後進育成・養成、専門職間の権利擁護ネットワークの構築に力を注いでいます。

✿ 小規模高梁の印象 ✿

私が担当させていいただいている被後見人の皆さまの支援を通じて職員の皆さまと関わりを持たせていただいています。一番の印象は、職員の皆さまが楽しそうに働いているなあ、という印象を持っています。それを感じさせていただける理由は、利用されている皆様が同様にそこで過ごされていることを感じるからです。また、同事業所は、主に在宅生活を支援くださる事業所であり、各利用者の皆さまの自立支援とご本人の尊厳の保持に寄与いただいていると思います。事業所の利用を通じて、ご本人方の新たな力を感じることができ、これぞ専門職、といつも敬服させていただいています。

✿ 最近の趣味活動 ✿

一昨年から、小学校の頃習っていた書道を再開しました。普段仕事などでバタバタしていますが、心を静めて集中することで良いリフレッシュとなっています。またキックボクシングも習い始めました。以前は草野球をしていましたが、最近でアクティブな運動をほとんどしていないため、ダイエットの一環で取り組んでいます(笑) どちらも先生に基本から教えていただきながら、まだヨチヨチ歩きの生徒ですが、良い学びの機会となっています。皆さんも最近何か新しいチャレンジしていますか？

日頃から備える防災・減災のお話

3月11日の山陽新聞で目に留まった記事があったのでご紹介したいと思います



3月11日に東日本大震災から14年目を迎えました。その後日本各地で大きな自然災害が起き、災害や避難について考えさせられる機会が増えています。

記事では、「シニアシングル女性のためのサバイバル読本」という本も紹介されていました。女性のためとなっていますが、もちろん男性にも役立つ内容だそうです。その本では、避難所ではなく、自宅で避難生活を送るポイントなどがまとめられているようです。避難は避難所へと思いがちですが、避難所では感染症がまん延したり、トイレに行かないために水分や食事を控えてしまったりと逆に体調をくずしてしまうこともあるので、しばらくの期間、自宅で備えをしておくことも一つの避難の考え方とのことです。普段からできる備えとして「水、食料、災害用のトイレは、1週間～10日分を備蓄する」「重たい家具の横には、なるべく寝ない」「ウォーキングや軽度の運動で健康を保つ」ことなどを勧めているそうです。備えていても起きないのが一番いいのですが、いつ起きるかわからないのが災害なのでいざという時のために備蓄ももちろんですが、いろいろな知識も備えておくといいです。